

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
令和4年度 定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和4年6月21日(火) 11時から12時10分
2. 開催場所 WEB会議
3. 出席者 評議員総数 9名
出席評議員 6名
岡崎英一(評議員会長), 五十嵐昌子, 藤枝重治, 堀 照夫, 山本博文,
吉川雄二
出席理事 細谷龍平(理事長)
陪席者 一葉正樹(福井県総務部大学私学課主事)

4. 議 題

(1) 審議事項

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について
- 第2号議案 理事, 監事, 評議員の選任について
- 第3号議案 「幸福の足袋」事業の現状と基金の今後について
- 第4号議案 基本財産の取り崩しについて
- その他 議事録署名人の選出について

(2) 報告事項

- 令和4年度事業計画及び予算について

5. 定足数の確認

評議員総数9名中6名の出席があり, 定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について

事務局から, 令和3年度事業報告及び決算報告について説明があった。その後, 監事監査報告書により, 令和3事業年度に係る事業報告及び計算書類等は, すべての点において適正に表示されており, また, 当事業年度における財産の状況及び理事の業務執行については, 法令及び定款に違反し, または不当な事項は認められない旨の報告があった。審議の結果, 全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 理事, 監事, 評議員の選任について

理事長から, 先の理事会(6月3日開催)で選任された理事候補者について報告があり, 1名の理事(松田透氏)から辞任届が提出されたこと及び5名の理事から任期満了のため退任したいとの申し出があったとし, 渡辺本樹氏の後任として西東一彦氏, 馬來田善資氏の後任として高屋雅樹氏, 武部衛氏の後任として橋本直之氏, 松田透氏の後任として松下晋也氏, 吉村直樹氏の後任として山口淳治氏, 林和哉氏の後任として山田聡氏の6名を理事候補者として選任した旨説明後, 審議の結果, 6名の理事候補者を理事に選任することを全員意義なく承認した。さらに, 任期が満了する春日野道治氏, 鞍谷文保氏, 黒原繁夫氏, 花島信氏, 細谷龍平氏の5名を引き続き理事候補者(重任)として選任した旨説明があり, 審議の結果, 5名の理事候補者を理事(重任)に選任することを全員異議なく承認した。理事の任期は2年であり, 今回選任される11名の理事の任期は令和6年度定時評議員会終結時までとなる。なお, 昨年就任した開発毅理事は任期を令和5年度定時評議員会終結時まで継続する。

次に、監事の馬來田善準氏から任期満了に伴い退任したいとの申し出があったことを受け、後任の監事候補者として諏訪光宏氏を選任し、同じく任期満了となる堂裕司氏は引き続き監事候補者(重任)に選任した旨報告があり、審議の結果、2名の監事候補者を監事(うち1名は重任)に選任することを全員異議なく承認した。監事の任期は4年であり、令和8年度定時評議員会終結時までとなる。

評議員については、人事異動に伴い辞任届が提出された近松茂弘氏の後任として鷺頭美央氏を評議員候補者として選任した旨説明後、審議の結果、鷺頭氏を評議員として選任することを全員異議なく承認した。同じく任期が満了する赤澤孝氏、五十嵐昌子氏、岡崎英一氏、酒井美樹男氏、藤枝重治氏、堀照夫氏、山本博文氏、吉川雄二氏の8名は引き続き評議員候補者(重任)として選任した旨説明後、審議の結果、8名を評議員(重任)として選任することを全員異議なく承認した。評議員の任期は4年であり、今回選任される9名の評議員の任期は令和8年度定時評議員会終結時までとなる。なお、昨年評議員に就任した清水則明氏は任期を令和7年度定時評議員会終結時まで継続する。

鷺頭様の戸籍上の氏は添田である。

第3号議案 「幸福の足袋」事業の現状と基金の今後について

理事長から概略以下の説明があった。

当基金がグリフィスの来日・来福150周年を記念して令和2、3年度に実施した「福井で見るサンタの夢事業」と、他団体の関連事業を合わせた成果であると思われるが、4月に学生が行った福井駅での街頭アンケート調査によれば、3年前には約5%であったグリフィスの知名度が約27%に上がっていた。同事業の延長である今年度の直営事業「幸福の足袋」は、同名の本の出版を軸に今年度も学生の参加を得て展開していく予定である。具体的には、本のプロモーション、幸福の足袋の制作・配布、スタンプラリー、グリフィス記念館の装飾、福井県内留学生とのオンラインクリスマス交流会を企画している。今年度の事業は引き続きグリフィスが福井で開いた日本初の公けのクリスマスパーティーをプロモートするものであるが、主なターゲット層は昨年までの子供から大人に転換する。そのシンボルとなる「幸福の足袋」のイメージを来年度以降に定着させ、新幹線開業を見据えた福井への観光誘客の一助となることを目指している。本は県内各書店及びインターネットでの販売に加え、福井青年会議所が本年実施するオンラインクラウドファンディング事業「ふくいのでいいコトいいモノプロジェクト」に出店して本をリターンとする寄付を募る予定である。

基金の今後のあり方については、次の諸事情から引き続き抜本的な検討を真剣に行う必要がある。まず150周年事業で得られた若干の寄付、令和2年度に行ったクラウドファンディング及び外部からの事業補助金を、財産の運用益と合わせても、今後の基金の事業運営を長期に継続して行けるに足る安定的な収入基盤には程遠い現実が引き続きある。今年度は本の出版(経費250万円)という特例の支出があるが、それ以外の平年並みの事業運営を諸経費を削減しつつ行っても毎年約400万円は支出していく必要がある。このまま行くと、あと約7年で基金の正味財産は1億6千万円まで減少し、福井県と福井市からの出捐金(各4千万円)が全体に占める割合が25%を超えて、当基金は言わば行政監察下に置かれることとなる。加えて、本職(理事長)は福井大学の常勤教員としての身分が本年度で終了することから、来年度以降は直営事業を大学との連携で学生の参加を得て行うことはできなくなり、またそれを前提に獲得してきた県と大学からの補助金も得られなくなる。本職は来年には福井を離れる予定であり、引き続き時宜に応じて出張とリモートワークにより職務を継続していく用意はあるが、直営事業の実施には大きな制約が課されることになる。従って、今年度の事業は基本的に今後のための「種蒔き」と位置付け、来年度以降は、助成事業を含めて、関連団体が「幸福の足袋」のコンセプトをテークオーバーして育てて行ってもらえるための補助的、触媒的な役割にシフトして行きたいと考えている。助成事業については、当基金の本来の設立目的と独自性に鑑みて、日下部とグリフィス、特にグリフィスの顕彰に繋がるような国際交流を対象を絞り込んで行く必要があると考えている。またポストコロナの国際交流の在り方は、実交流とオンライン交流のハイブリッドになると見込まれる中で、当基金としてはオンライン交流の部分に絞り込んだ助成を行う方針を当面継続することとしたい。

これに対し、全評議員から理事長の方針を承認するとともに今後の方向性について有益な意見や助言が出された。

理事長よりこれらの意見についてさらに関係方面とも協議しつつ、今後の活動と運営に適切に活かして行きたい旨述べた。

第4号議案 基本財産の取り崩しについて

事務局から、第4号議案に先立ち、(2)報告事項の令和4年度事業計画及び予算についての説明があった。その後、本年度の事業運営のために基本財産である定期預金の一部を取り崩し、普通預金に振り替えたい旨報告があった。審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他 議事録署名人の選出について

議長から、定款第25条第2項の規定により、本評議員会議事録署名人の選出を求めたところ、全員異議なく、山本博文評議員及び吉川雄二評議員の2名を選出した。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり記名押印する。

令和4年6月21日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 評議員 岡崎 英一 ⑩

議事録署名人 評議員 山本 博文 ⑩

議事録署名人 評議員 吉川 雄二 ⑩